学校番号	3020B

平成３１年度　　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	1	年次	２年次（後期）
使用教科書	美術２　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

かたちや色に対して、美術的な関心をより深め、身近な物から建物や風景などへの造形的な成り立ちを見極めて、それをより創造的な表現、特に立体表現や鑑賞に生かすことを心がける。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験をより豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、より感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解と関心を深める。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：美術への関心・意欲・態度	b：発想や構想の能力	c：創造的な技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に理解と関心を深め、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、自らの意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっいる。
評価方法	出欠 実技 レポート 取り組み態度	実技 レポート 取り組み態度	実技 レポート 取り組み態度	実技 レポート 取り組み態度

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">題材名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="6">後期</td><td rowspan="3">立体表現・鑑賞</td><td>平面表現との違い
立体表現④（線材を用いて）</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="3">a:かたち（や色に）対してよく観察し、主体的な工夫をして表現に取り入れているか。
b:主体的な見方をかたち（や色に）取り入れて工夫のある発想や構想をしているか。
c:主体的な表現を作品に取り入れる技術を取り入れようとしているか。
d:他の作品の良い点を自らの作品に取り入れようとしているか。</td><td rowspan="3">出欠
実技
レポート
取り組み態度</td></tr>
<tr><td>立体表現⑤（線材と板材を用いて）</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>立体表現⑥（線材、板材、塊材を用いて）</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">選択課題・鑑賞</td><td rowspan="3">平面表現・立体表現の中から各自で選択して作業表に計画や用具や準備、制作内容をまとめる。</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="3">a:かたちや色に対してよく観察し、主体的な工夫をして表現に取り入れているか。
b:主体的な見方をかたちや色に取り入れて工夫のある発想や構想をしているか。
c:主体的な表現を作品に取り入れる技術を取り入れようとしているか。
d:他の作品の良い点を自らの作品に取り入れようとしているか。</td><td rowspan="3">出欠
実技
レポート
取り組み態度</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">選択課題・鑑賞</td><td rowspan="3">平面表現・立体表現の中から各自で選択して作業表に計画や用具や準備、制作内容をまとめる。</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="3">a:かたちや色に対してよく観察し、主体的な工夫をして表現に取り入れているか。
b:主体的な見方をかたちや色に取り入れて工夫のある発想や構想をしているか。
c:主体的な表現を作品に取り入れる技術を取り入れようとしているか。
d:他の作品の良い点を自らの作品に取り入れようとしているか。</td><td rowspan="3">出欠
実技
レポート
取り組み態度</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a：美術への関心・意欲・態度　　b：発想や構想の能力
c：創造的な技能　　d：鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。